

平成 2 7 年度第 1 7 回定例会

八王子市教育委員会議事録（公開）

日	時	平成 2 8 年 1 月 2 7 日（水）	午前 9 時
場	所	八王子市役所 議会棟 4 階	第 3 ・ 第 4 委員会室

第 1 7 回定例会議事日程

1 日 時 平成 2 8 年 1 月 2 7 日 (水) 午前 9 時

2 場 所 八王子市役所 議会棟 4 階 第 3 ・ 第 4 委員会室

3 会議に付すべき事件

第 1 第 5 8 号議案 平成 2 7 年度 2 月補正予算の調製依頼について

4 報告事項

・ 八王子市立小中学校合同作品展第 1 1 回「おおるり展」について

(指導課)

・ 平成 2 8 年八王子市成人式の実施結果について

(生涯学習政策課)

・ 国史跡八王子城跡曳橋架替工事について

(文化財課)

その他報告

出席者

教 育 長	坂 倉 仁
教育職務代理者	和 田 孝
委 員	星 山 麻 木
委 員	輿 水 かおり
委 員	村 松 直 和

教育委員会事務局出席者

学 校 教 育 部 長	廣 瀬 勉
学校教育部指導担当部長	山 下 久 也
教 育 総 務 課 長	小 林 順 一
学 校 教 育 政 策 課 長	小 俣 勇 人
学 校 複 合 施 設 整 備 課 長	内 野 茂 樹
施 設 管 理 課 長	岡 功 英
保 健 給 食 課 長	野 田 明 美
教 育 支 援 課 長	穴 井 由美子
指 導 課 長	中 村 東洋治
教 職 員 課 長	廣 瀬 和 宏
統 括 指 導 主 事	佐 藤 晴 美
統 括 指 導 主 事	斉 藤 郁 央
生涯学習スポーツ部長	小 柳 悟
生涯学習政策課長	井 上 茂
ス ポ ー ツ 振 興 課 長	坂 口 崇 文
学 習 支 援 課 長	新 井 雅 人
文 化 財 課 長	中 正 由 紀
こ ど も 科 学 館 長	牛 山 清 志
図 書 館 部 長	小 坂 光 男
中 央 図 書 館 長	中 村 照 雄
生涯学習センター図書館長	新 堀 信 晃

南大沢図書館長
川口図書館長
指導課主査
生涯学習政策課主査
教育総務課主査
教育総務課主任
教育総務課嘱託員

村田浩三
福島義文
大日向由紀子
田中伊久美
堀川悟
村石英里
村尾ひとみ

【午前9時00分開会】

坂倉教育長 皆さん、おはようございます。

これより、平成27年度第17回定例会を開会したいと思います。

なお、本日の出席は5名全員でありますので、本日の委員会は有効に成立していることを御報告申し上げます。

また、本市では地球温暖化対策、省資源対策の一環として、節電等に取り組んでおります。本定例会におきましても、照明の一部消灯を実施いたしておりますので、御理解いただきますようお願い申し上げます。

それでは、日程に入ります前に、本日の議事録署名委員の指名をいたします。本日の議事録署名委員は村松直和委員を指名いたします。よろしく願いいたします。

また、議事日程中、第58号議案については、いまだ意思形成過程のため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項及び第8項の規定により、非公開といたしたいと思いますが、御異議ございませんでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

坂倉教育長 御異議ないものと認めます。

坂倉教育長 それでは、それ以外の日程で進行いたします。

報告事項です。指導課から報告願います。

中村指導課長 おはようございます。

1月14日から1月18日まで開催されました、平成27年度八王子市立小中学校合同作品展第11回「おおるり展」の実施結果につきまして、担当の大日向主査から報告いたします。

大日向指導課主査 配付しております八王子市立小中学校合同作品展第11回「おおるり展」の実施結果の資料に沿って報告させていただきます。

開催日時ですが、平成28年1月14日木曜日から18日月曜日までの3日間、午前10時から午後8時。最終日は午後2時30分までの開催で行いました。

会場は、八王子市学園都市センター。11階のギャラリーホールでは美術、12階のイベントホールでは図画工作、ホワイエで書写、第1セミナー室では家庭科の作品を展示いたしました。

出品校ですが、昨年と変わりなく書写37校、家庭科34校、図画工作と美術についてはそれぞれの学校で出品をしております。出品合計数は昨年より322点増えて4,887点でございました。

また、小学校PTA連合会は川柳、中学校PTA連合会は科学コンクールの入選作品を出品されました。

来場者数ですが、本年度は会場入り口が3カ所できたので、それぞれの来場者数の延べ人数となりますが、5日間の合計で2万7,489人でございます。

次に、アンケート結果ですが、各会場にアンケート回収ボックスと記載台を用意いたしまして、声かけもいたしました。アンケートの回収数は1,509枚でした。

(1)の記入いただいた方の内訳ですが、小学生376人、25%、中学生119人、8%、保護者747人、50%、一般221人、25%となっております。

(2)の「おおむね好評」を御鑑賞いただいていたかという質問に対する回答ですが、1の「とてもよかった」、2の「よかった」の合計が96%でしたので、おおむね好評であったと思っております。

主な御意見ですが、展示方法については、「とても見やすかった・とてもよかった」433件、「学校ごとに分かれていてよかった」54件。今回、会場が分かれた展示になってしまいましたが、「教科ごと、小学校・中学校ごとに分かれていて見やすかった」という御意見も20件ございました。改善要望としては、「足元の作品が見えにくい」18件という御意見もありました。

の作品についてですが、「素晴らしい作品・感動した」469件、「個性のある作品で楽しかった」108件、「中学生のレベルが高い・中学生の作品に感動した」44件など、小学生の伸び伸びとした感性豊かな作品に感動し、中学生になると技法や芸術性のレベルが一段と上がっていることに驚かれる方が多かったようです。

の会場についてですが、「交通の便がよい・駅前で便利」299件、「広くてよい」77件、「明るくてよい・きれいでよい」52件などおおむね好評でしたが、やはり「同じフロアで展示してほしい・一つの会場にしてほしい」82件、「エスフォルタアリーナの方がよい」14件などの御意見もいただいております。

開催時期・開催時間についてですが、「よい」326件、「8時まで見られてよ

い」81件、「もう少し開催期間が長い方がよい」77件などとなっております。

前年度のアンケートで改善要望が多かった順路についてですが、本年度、会場が変更になり、教科ごとの展示になったことで、別段の御指摘はありませんでした。また、作品の説明の掲示についても、指導課と実行委員会とで調整し、取り組みました。

今回、そのアンケートでいただいた改善要望については、次回の実行委員会で検討し、改善策を考えていきたいと思えます。

最終日は、朝から積雪があり交通機関が乱れているなど、受付担当のPTAの方に来ていただけるのか、撤収の教員が集まれるのか心配いたしましたが、皆さん、予定どおりに来ていただいて、無事、開催、撤収ができました。

また、撤収作業も商業ビルのため、エレベータの混雑状況や会場が分かれていることなどから、かなり時間がかかると予測していましたが、小学校、中学校の先生方もお互いに声をかけ協力して作業を進めていただき、予測よりも早く撤収作業を終えることができました。

平成28年度についてですが、平成29年1月26日木曜日から30日月曜日まで、会場はエスフォルタアリーナ八王子、多目的室での開催を予定しております。

報告は以上です。

坂倉教育長　　ただいま、八王子市立小中学校合同作品展第11回「おおり展」の実施結果についての報告は終わりました。本件について、御質疑、御意見等はありませんでしょうか。

私自身の感想ですけれども、今、お話があったように、部門に分けたではないですか。それがかえって見やすいなと思ったので、そこはいいと思っていますし、それから、実際の出品数も増えているのですよね。そういう意味では、来年はエスフォルタと決めてしまっているみたいだけれど、このアンケートを見てみても交通の便がいいと言っている人の数と、それから同じフロアとかエスフォルタがいいと言っている人の数を比べると、交通の便がいいのほうが多いし、8時まで見られてよいという御意見もあるとすれば、エスフォルタでやる場合でも最低限時間については、もう少し検討しなければいけないかと思うようなところがありました。

それから、今、作品の案内についてもお話があったのですけれども、確かに昨年、

一昨年よりもはるかに解説をするようになったのですけれども、まだ、学校によっては全体の説明のところもありますね。このスペースにはスペースの意味があるとなって、個人の説明をしていないところが結構あったのですけれども、学校によっては、いわゆる情報開示ではないけれど、学年と名前の下に制作意図なんかを書いてあったのですけれども、やはりそのほうがはるかに子どもの意図が私はわかったので、そういう意味では、ぜひ、より多くの学校につくった理由とかを書かせるような方向で、また言ってほしいというのが1点あります。

それと、あと、出品について思ったのは、どうしても大規模校は不利で小規模校が有利なのですけれども、学年の中で作品をピックアップするのだけれど、そのピックアップがどういう選定でやっているのかわからない。昔だったらちょっと自信のない子でもぱっと候補に上げてやったりするのもかもしれないけれど、今はなかなか学芸発表会でもオーディションをやるぐらいだから、昔とは違うんだけれども、そういう中で、ちょっと工夫があってもいいかと思ったのだけれど、上巻分方小学校なんかは割と大規模校なのですけれども、このぐらい小さい額絵というのか、いわゆるコースターぐらいの絵を描いているものだから、5年、6年全員の作品が出していたのです。資料を見ても、やはり来ているのは本人たちよりも圧倒的に保護者の方なんかが多いから、自分のお子さんのがないと、なかなか来にくいとすると、これは教育方針のカリキュラムだからお願いするしかないのですけれども、なるべく多くの子どもが発表できるような場があるといいと思ったので、選定係には、何かやはり考えてほしいとちょっと思いました。

私はこんな感じです。経路も非常に見やすくなったので、初め、ちょっと心配しましたが、学園都市センターでもいいのではないかという気もしたので、もう決まってしまうからいいのですけれども、ぜひ、エスフォルタでやるときの経路とか、それから時間の関係をぜひ検討していただきたいと思いました。

大日向指導課主査 エスフォルタアリーナで開催するに当たっても、時間のほうは午後8時までを計画しております。逆に撤収作業に時間がかからないので、最終日は4時ぐらいまで開催できるかなというふうに思っております。

今、いただいた御意見は実行委員会のほうで話をして検討していきたいと思えます。

坂倉教育長　ほかにいかがでしょうか。せっかくですから、よりよくなるために。

輿水委員　私もエスフォルタでやったのを見たことないのと、昨年度まで「おおるり展」にそういう意味で参加していませんでしたので比較ができないのですが、わかりやすいし、来ていらっしゃる方々もスムーズに動いていらっしゃるというふうに思いながら拝見いたしました。

今、教育長から言われたガイドです。私は、以前、都の美術展も担当したことがあるのですが、しっかりと子どもの制作意図とか、または学校の思いというのがあらわれている展示だと思いながら見ました。今、盛んに言われている言語活動というものは、当然、図工・美術もかかわってくるわけですので、こんなふうな意図でとか、こんな工夫をしてという製作者の思いがあらわれるというのは、とてもよいことだと思います。

ですから、そういうふうなかかわらせ方という部分、もう少し積極的に押されると、子どももやる気になってくるし、作品もより磨かれてくるし、鑑賞する側も、こういうことなのだということが伝わってきてよいかなというふうに思います。

1点、質問です。出品数または出品校については、ここに前年比が出ておりますけれども、この会場を変えて今回やった中では、これは前年比、来場者数というのは増えているのでしょうか、減っているのでしょうか。

大日向指導課主査　昨年までは、受付が1カ所でしたので、そこで人数のカウントをしております。昨年は1万3,668人、来場者がありました。今年度は3カ所の延べ人数なので、はっきりした人数はわからないのですが、一番多かった図画工作の受付のところで見ますと、1万679人が5日間の合計で来場しております。

全ての会場を、これはちょっと課題だったのですが、全ての会場を見てくださいということで声かけはしたのですが、どうしても中学生の保護者の方で中学校だけを見て帰られる方、また、逆に小学校だけを見て帰られる方というのが一定数おりました。その部分を考えますと、ちょうど昨年と同じぐらいの人数の方がいらしたのではないかと感覚では考えております。

村松委員　昨年、エスフォルタアリーナで「おおるり展」をしたときにも、私、受付のほうでやらせていただきまして、今年も拝見しに行ったときに、人数がちょっと

足りないかと思って、受付のほうで少し手伝わさせていただきました。そうしましたら指導課の若い方たちとお話ができたり、本当にきめ細かく指導課の方たちがいろいろとPTAの方たちとかに指示したり、お話をしたりしていて、PTAの小中の役員さんたちもとてもよかったということで、皆さんとお話できました。今回はエスフォルタと違って受付の人数が単純に倍になったのです、PTAの役員が。そうしますと、かなりそこから振り分けたり出したりするのも、かなり喧々諤々しまして大変だったのですけど。でも、そういう形での指導課の皆さんが一生懸命やってくださった姿で、PTAの方たちもよかったというふうにおっしゃっていました。

気がついたのが、まず、アンケートを配る。あとは人数のチェックをするときに、少なくとも四つの受付があったのです。三つでしたか。三つの受付で、各自でアンケートを配るのですけれども、やはり、そこで見に来た方が「さっきもらったよ」と、または、「なんだ、またここでチェックしなければいけないのか」と。その辺で、かなり、ちょっとクレームが出ていたところも見受けられましたので、あれは、やはり指導課の皆さんがPTAのほうに、こういうふうにしてほしいと、アンケートを配ってくださいと、しっかりと指示を出していただけて、その日、その日時間帯も役員が変わりますので、しっかりその辺は指示を出していただければ、もうちょっとスムーズにいったのかというふうに思います。

このエスフォルタ、去年見ていて、本当に展示数が多かったので、いろいろな子たちも展示して、それをまた家族で見に行くと、とても良かったです。今回は、学園都市で展示数が少なくなったのですけれども、それでもやはり保護者の方たちに聞いてみますと、やはり駅前でとても良かったと。また、お父さんも8時まで帰ってきて見られたということで、大変喜んでいらっしゃる方が、去年より何かちょっとそういうアクションは多く見受けられたので、ぜひ、エスフォルタアリーナというふうで開催予定で決まっているみたいですが、ぜひ、その辺も考慮に入れて、また、皆さんと実行委員とお話をしてやっていただけると、これはもう「おおるり展」は本当にいいものになっていくと思いますので、ぜひ、御検討いただいて、頑張りたいと思っています。

以上です。

大日向指導課主査 会場についても実行委員会のほうで検討をしていきたいと思って

おります。

坂倉教育長 他によろしいでしょうか。

星山委員 私は行きたい、行きたいと思っているうちに終わってしまったという、申しわけなかったと思うのですが。結構、もう少し開催期間があればという意見も多いように思うのですが、やはりこの量も開催なさる方の御負担があると思うのですが、やはりこの期間が限界なのかというところで、ちょっと伺ってみたいのと。

自分が親だったころ、今も親ですけど、やはり自分の子どもの作品があるかないかというのは、その会場に行ってみる大きな動機になると思うので、八王子市が言っているように、保護者の方と子どもと一緒に育てていくというところを推進するためにも、二つ考え方があると思うのです。すばらしい作品、選ばれている作品を見に行くということと、必ずうちの子の作品がどこかしらにあるから行ってみるんだという、ちょっとその辺のところの会場の都合などがあって難しいのですが、さっき、教育長がおっしゃったみたいに。ちょっと、個々のセクションは小さくてもいいから、必ずあるというのを作品で工夫してくださると、確かにクラス全員で見られるという一つのやり方もあるかと思いましたが、ちょっとその辺のところも現場などから、実際にこんな声が挙がっているなんてことがありましたら教えていただければと思いますけれど。

以上、2点です。

大日向指導課主査 開催期間ですけれども、実際、5日間開催しておりますが、前日に搬入・飾りつけを行って、その前に会場設営というのがありますので、全部で7日間会場を借りております。学園都市センターについては、6日間が限度と言われていたところを、頼み込んで7日間お願いして開催が5日間ということになりました。以前、そごうやダイエーで行われていたときも、やはり、ああいう催事場は1週間単位なのです。そうしますと、どうしても設営と搬入で1日ずつとられると、開催期間が5日間ということになっております。

昨日、ちょっとエスフォルタアリーナのほうに確認をしたら、エスフォルタについては、空いていれば1週間という決まりはないということでしたので、その期間についても検討の、まだ余地があるかというふうに思っております。

あと、一人でも多くの作品を展示したいというのが、教員も共通のものでして、どうしても会場の都合と説明などを詳しくつけていくと、また、その一人分ぐらいの作品がどうしても展示できなくなるというところで、苦しいところなのですが、常にそのところは検討会でも意見が出ているところですので、今後も一人でも多くの子どもたちの作品が飾れるように、検討会の中で工夫を重ねていきたいと思っています。

坂倉教育長　今のに関連して、これは何年か前にも聞いたと思って、なかなか聞けな
いけれども、先ほどの説明の中で、図画工作と美術は小も中も全部出しているとい
うのだけど、書写と家庭科がもうずっとこんな感じなのだけれども、そのこのと
ころの理由、どこの学校も書写もちゃんと時間数はとっているはずだし、家庭科もや
っているはずなのですが、先ほどの準備とか何かも考えてあるのかもしれないけ
ど、その辺のところどうなんですか。

大日向指導課主査　今、家庭科も書写も専科の先生が中心となって運営をして出展し
ていただいている関係で、やはり、専科の先生がいない学校ですと、ちょっと厳し
いのかというところがあります。ただ、専科がいない学校というと学級数も少ない、
教員も少ない学校になっていて、教員一人一人の負担も大きいのかなというところ
がありますけれど、今回も本当は出したいのだという予定していた学校から直前にな
って、やはりどうしても1、2校減ってしまうというところがあります。少しで
も出したいと思われる学校が出せるように、仕事の分担なども工夫していければと
いうふうに思っております。

坂倉教育長　そのように言われたのだけど、専科の先生がいないところでの家庭科と
か書写というのは、全体に影響がないのか気になってしまうのだけど、指導課、そ
の辺のところはどんなふうな状況だか、ちょっと教えていただけますか。

斉藤統括指導主事　確かに出品の選定のところで、まず専科の者がいないと、なか
な校内での手順ができないというところと、それから、当日も輪番で担当しなけれ
ばいけないので、学級担任のほうがそのあたりフォローをするというあたりの負担
という、専科も含めて校内で2名、3名とられるということになるのが、ちょっと
厳しい部分があるのかとは思いますが、特に小学校など今の時期、書き初め展など
をやっておりますので、そのあたりのところからやるということは可能だと思いま

すので、できるだけそのあたりで作品は出品できるように声かけしてまいりたいというふうに考えています。

坂倉教育長 作品の出品よりも、それは今おっしゃったからわかった。気になったのは、今のまさにここなんだけど、書き初め展でお習字塾に行って非常にうまい人がいるではないですか。専科、書写は専科ではないけれども、各教室で余り、私なんかもそうなんですけど、上手ではない人が教えるときに、逆に児童のほうから、生徒のほうから何だよみたいなのはないのか。どんなふうな工夫で指導しているのかと、ちょっと聞きたかった。

斉藤統括指導主事 定例会の場で言うのも何なんですけど、自分の例でもそうなんですけど、いろいろ補助するワープロとか行書体とか、いい見本のものなんかもあったりしますので、そういったICTをうまく活用しながら指導する教員も増えているというふうに感じております。

坂倉教育長 そういう意味では、自分の技術はなくても、しっかり教えるほうについては、支障はないということですね。

ほかによろしいでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

坂倉教育長 続いて、生涯学習政策課から御報告願います。

井上生涯学習政策課長 それでは、前回第16回定例会のときに速報値ということで報告させていただきました、今年1月11日に実施した成人式につきまして、数値が確定いたしましたので、改めて報告をさせていただきます。

あわせまして、前回の定例会時に市内の中学校を卒業した人の参加率を他市と比較したらどうですかというような御意見もいただきましたので、その点も含めまして、本日、報告をさせていただきます。

それでは、詳細は田中主査のほうから報告いたします。

田中生涯学習政策課主査 それでは、生涯学習政策課より平成28年1月11日に開催しました八王子市成人式の実施結果について、資料に基づき御報告させていただきます。

先日は、お忙しい中、御臨席賜りありがとうございました。並びに御協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。この場をかりてお礼を申し上げます。

当日は、天気にも恵まれ、事故やトラブルもなく無事に終了することができました。

それでは、資料の2 参加者数です。

10時からの第1回は1,562名、12時30分からの第2回は1,838名、合計3,400名の方が参加されました。対象者7,569名に対する出席率は44.92%でした。これは平成19年以降では最多の人数となります。第1回、第2回とも人の流れはスムーズで、入場制限をかけることなく、来場した全員が参加することができました。

これは、地区割りの効果で分散したということもありますけれども、協力者、職員の方、皆さんよく、本当に誘導していただいて、特にホール担当の方、座席数1,764席のところ、本当に一つも余すことなく、非常に上手に誘導していただいたことも大きいのではないかと思います。

次に、3 地区割りの効果です。第1回に参加した第2回対象者と、第2回に参加した第1回対象者は、いずれも5%前後と有意な差は見られませんでした。結果から見ると、皆さん、案内どおり指定された会に参加していただいたようです。

次に、4 広場イベントの効果になります。こちらも今回初めての試みでした。八王子南口商栄会やプロバスケットボールの東京八王子トレインズ、そしてゆるキャラたちの協力もありまして、広場を有効に活用したとても和やかな雰囲気イベントとなり、新成人めいめいが楽しんでいるようでした。とちの木デッキ上の滞留する状況については、例年に比べて通行できなくなるほどの混雑にはなりません。また、新成人同士のトラブルなども見られませんでした。

次に、5として参考に、他市の出席者数や開催方法について載せています。

先ほど説明した八王子市の出席率44.92%ですが、これを中学校卒業した15歳人口5,216名で見ると65.18%の出席率となり、7割近くの地元の方が参加したことになります。事業費についても、各市の開催方法により金額に違いがあることがわかります。他市を含めた傾向といたしましては、回数を複数回開催している自治体では出席率が比較的高いということがわかります。

次に、7 来年度の方向性といたしましては、地区割りの効果がある程度確認できましたので、来年も同様にしたいと考えています。しかし、第1回、第2回の出

席者に300名ほどの偏りが見られます。これは1回目と2回目の対象者数を均等に割り振ったものの、市立中学校卒業生の数が450名ほど、2回目の対象者が多いことが原因と思われます。来年は学区域や人数を考慮し、第六中、浅川中を第1回の案内に変更し、各回とも中学校卒業生徒数を2,300名の想定といたします。

また、広場イベントにつきましても、とちの木デッキから分散して有効的に開催できたことから、新成人を初め、地域の方々、団体や管理会社、警察等にも好評でもありましたし、イベント担当の方からも警備がやりやすかったとの声もいただいておりますので、継続の方向といたします。

今後の課題といたしましては、当日の天気が雨・雪の場合に、混雑をどう解消するかということになるかと思えます。

最後になりますが、成人式のパネル展につきまして、昨日、1月26日から2月7日まで、八王子駅南口総合事務所展示スペースにて開催しておりますので、お時間のあるときに御来場くださいますよう、お願い申し上げます。

報告は以上です。

坂倉教育長　　ただいま、平成28年八王子市成人式の実施結果についての報告が終わりました。本件について御質疑はございませんでしょうか。

2点なのですが、一つは、本当に旧市民会館でやっていたときよりも、新成人自体も静かになったこともあるだろうけれど、やはり場所を移したことによって、非常に落ちつきがあって、特に後の整理なんかは、前だと会場前の道のたばこを拾ったり、それから割れた一升瓶があったりして、散らかっていたので、4時、5時ぐらいに撤収していたのが3時ごろに帰ってよかったのですけれど、しかもこういうふうに工夫してくれているのですけれども、ちょっと気になったのは、私が帰るときに、まだボーイスカウトの方々が一生涯懸命やってくれて、これから撤収してまだまだ撤収は時間がかかるような話があったのですけれど。もちろん、協働でやっているからいいのだけれども。ちょっとどうなのかと、主催が先に帰ってしまっていていいのかと思ったのですけれど。その辺はどんなふう感じたのかというのが1点と。

もう1点は、区割りで今度は六中と浅川中を1回にするというのはいいと思うのですけれど、全体の区割り自体で主に中央線の北と南なのですけれど、何か考えると

ころがあったかないか、ちょっと聞きたいと思ったのですけれど。

田中生涯学習政策課主査 1点目のお手伝いの最後の撤収作業についてですけれども、基本的にホール内の方については、職員であっても先に帰っていただく。あとは、生涯学習スポーツ部の職員については、最後まで残って、外の撤収作業も手伝ってもらおうというような形をとっております。

2点目なのですけれども、中央線の北と南で、意図するところではなかったのですけれども、最初にどういうふうに分けるのが一番理解が得られやすいかというところで、近くのところで集めようかということも考えたのですけれども、やはり中央線の存在は大きいところもありますので、一番理解が得られやすいのかなと思ひまして、ちょっとそんな形で分けさせていただきました。

坂倉教育長 本当に私ばかり繰り返して申しわけない、また長くなるので。オリンパスでやった中では、1回目が少し騒がしかった気がしたので、これはこれで仕方ないという気はするのですが、いろいろ工夫してみてください。

六中、浅川中が変わることは、対象者が毎年違うから大丈夫と思うのですけれど、その辺ももし、年子か何かが出て、こっちじゃないかと思っているといけないから、また、ちょっと工夫されるといいと思います。

井上生涯学習政策課長 先ほどの区割りの関係なのですが、例えば六中でいいますと、今回、三中与六中は別の区割りだったのですけれども、小学校区でいいますと同じ小学校の方が多いのです。そういうことも考慮して、今後、地区割りを分散していきたいと考えております。なるべく小中で同級生であった子たちが、同じ回のあるときに参加できるような、そういうような工夫もしていく必要があるかと思っております。

輿水委員 質疑ではなくて感想です。これ、他市の状況を出してくださって、非常に比較という意味ではわかりやすかったというふうに思うのです。特に、八王子のコストパフォーマンスのよさというか。驚きです。これはやはり商店会とかさまざまなところの支援があったからこそだと思います。それをもう少し表面に出して、八王子らしさを強調するのもよいではないかというのが一つ。一つはそれを重用とするというか、というのが一つ。

もう一つは、やはりこの事業費を見たときに、もうちょっと上げれば、もっと思

い出に残るものが企画できるのではないかというのが一つです。企画者側の御苦労を感じながらもそれを感じたところです。

成人式というのは、ふるさと意識を持つには、すごく大事な式だと思います。このまちで育ち、このまちで暮らし、このまちを支えていくという一つの決意をここで持たせるという意味では、お金をかけても価値があるというふうにも思います。今、この予算でこれぐらいの成果を上げているとするならば、お金さえかければいいというのでは絶対ないのですが、中身のあるものをもう少し工夫ができるような余裕ある予算がつけばいいのというのが感想です。

井上生涯学習政策課長 1点目の地域の方との協働という点ですが、今回、初めて八王子南口商栄会という地域の商店街の方と協働して広場で無料で温かい飲み物等を配布させていただきました。やはりそういう、今回だけのつながりにしないで、これをきっかけに、今後も地元の商店街の方といろいろなことで協働あるいは共催等ができればと考えております。商栄会の方も非常に好意的に受け取っていただきまして、本当に温かい飲み物を出すのも、店で温めてもらったお湯とかを持ってきて注いだりとか、非常に協力的というのでしょうか好意的に受け取っていただきましたので、これを本当に一つのチャンスにして、なるべくそういった輪を今後広く広げていければと考えております。

2点目の事業費ですが、委員が言われましたように、お金をかければいいというものではないかと思えます。たまたま平成29年が八王子100周年となりますので、30年1月の成人式については、少し100周年らしい成人式にしていきたいと考えておりますし、それも、その100周年だけで終わらせるのではなく、その後の展開も踏まえた中で、まず、100周年の成人式を少し、金額云々ということではなくて、工夫した中で、もう少し八王子らしさみたいなものを表に出しながら開催していければと考えております。

以上です。

輿水委員 期待しています。先ほど申し上げましたけれども、ぜひ、若い人たちが、このまちが好きだ、このまちでよかったなと思えるような、そんな式にしていたらと思います。

以上です。

坂倉教育長 本当に5番の資料はいいと思います。前にやったみたいに44.9といったら比較した中で一番低くて、何だと言われてしまうけど、こういうふうを書くのもいいし。私は、この事業費を入れるとは思わなかったのだけれども、これもすごくいいと思うので。額だけじゃないと言ったけど、やはり立食形式なんかは別にして、同じでも杉並は740万かけて2回開催だけど、うちよりも低いし。それから町田なんかは1回かもしれないけれど、やはり550万かけても低い中で。例えば、世田谷は多くかけているのですが、3回やっているけど、結構高いので、記念品か何かが違うのかもしれないけど、その辺もぜひ含めて検討しながら、これくらいかけるとこうなりますよとアピールをしていくと、ぜひ、財政もかつかつでやっておりますので、なかなかいい資料だと思いました。

井上生涯学習政策課長 他市の状況をもう少し分析いたしまして、財務当局のほうには強く要求をしていきたいと考えております。

坂倉教育長 ぜひ、3分の2は来ているというあたりまで行ってほしいと思います。

星山委員 本当、私もそう思いました。他市の状況を出していただくと、別にライバル意識が芽生えるわけではないですけど、すごく、どうしてなのかなと。逆にどうしてなのかと、若者は何を求めているのかと、とても参考になると思うのです。意外だと思ったのは、どうもお金をかけてご飯を出しても別に、余り反応していないですね。でも、詳しくは書いていないですけど、一つ考えられるのは、やはり友達に会いに来るのではないかなと。だから、きめ細やかにいろいろな会場でやっているところのほうが、ひょっとすると出席率が上がるのかという気もしますが、ちょっと世田谷が謎なので、ぜひ、リサーチしていただけたらと思うのですけれど。若かりしころ、成人式に行きたいなと思った一つの理由は、やはり友達に会えることだったなと何となく思います。ですから、先ほども出ていましたけれど、微妙なその区域割りみたいなものも、来る側にすると心理的に影響があるのではないかと感じましたし。

それから、やはりもう一つ、今年も八王子の式に出させていただきましたけれど、もっと八王子のよさをアピールすればいいのにとすごく思いました。後半のアイドルが出てくるのも、とても楽しかったけれど。でも、やはり、教育委員会として彼らに伝えたいものというのは、やはりまちを愛する心ではないかと、さっき輿水委

員もおっしゃっていたところなので。

何か私も他市で生まれ育っているものの、八王子を愛し始めている自分がびっくりなのですけれども。もっと八王子ってすごいところなんだ、こんないいところがあるんだ、こんなものが例えば、もうちょっと観光とかお祭りとかいろいろあるものとかが、バーっと思い出されると、すごく愛する気持ちが伝わるのではないかと思ったりもしましたので、何かその辺のところを、もうちょっとアピールできると。全体的にとてもよかったと思いますけれども。よりよくすればということですが、感想でした。ありがとうございました。

和田委員 本当に、毎年、式典も含めていろいろな工夫をされているというふうに思いました。本当に担当者というのは大変だったのではないかと、終わるまでなかなか気が抜けなかったのではないかと思います。

今回、珍しくちょっとざわついていたので、ウっと思いましたけれども、ここ数年、本当に新成人がおとなしくなっていたので、逆にこういう新成人がいるのだなというふうにやはり思いました。

それで、大分後半のほうの部の流れみたいなものも固まってきていたと思うのですけれども。例えば、今回のアイドルが出たりとか、フラチナリズムが出たりとかという、そういうところのアイデアというのは、実行委員会がどれだけかかわっているのかというところは、どうなのかなというふうに思います。何か、あるパターンにどんどん入ってきて、出し物だけが変わっていくというだけではなくて、今、星山委員もおっしゃっていましたけれども、八王子のよさとか、昨年やったビデオなんか私はとてもよかったと思っているので、ああいう八王子をアピールしたりとか、文化とか芸能であるとか、いろいろなものがたくさん八王子にはあるわけなので、ぜひそういうものも紹介していけたら、もっとわかってくれるのではないかと思います。

市長さんのいろいろな市の紹介を、随分、市長さんは当日にお話されていますので、そういったものが映像のような形で示されてくると、そういう祝辞とそれから八王子のよさというものがつながってくるような気がします。

質問としては、実行委員の方たちが何か提案をされていたり、工夫や意見が生かされているような状況になっているのか、そこだけ教えていただければと思います。

井上生涯学習政策課長 アトラクションの部につきましては、基本的に実行委員会の提案を採用しております。実行委員のメンバーも毎年変わりますので、その年、その年で実行委員会のほうからいろいろな提案が出てきていますが、今、何人かの委員の方が言われましたように、もう少し八王子らしさを表に出せるような、そういった取り組みも必要かというところは、事務局のほうも認識しているところです。

実行委員のほうで最終的には、提案をしていただきますけれども、その実行委員の会議をやる冒頭等に八王子市らしさを出す工夫をもうちょっと取り入れてみてくださいといったようなことを、お願いした中で検討してもらおうとか、そういったやり方があるかと思いますので、来年以降の課題とさせていただきたいと思えます。

坂倉教育長 よろしいでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

坂倉教育長 それでは、続きまして、文化財課から報告をお願いします。

中正文化財課長 それでは、国史跡八王子城跡曳橋架替工事について、資料に基づき説明・御報告いたします。

概要でございますが、現在、国史跡八王子城跡曳橋の架替工事を実施しており、その進捗状況と竣工後に実施します開通式の概要について報告するものです。

まず、経過を御報告させていただきます。

この曳橋は平成2年10月に竣工しております。平成26年2月になりまして、曳橋の劣化が判明いたしまして、その診断結果に基づき解体を実施することとなり、平成27年2月に解体工事を完了いたしました。引き続き、昨年、平成27年5月より架替工事に着手しております。現在の状況ですが、左下でございます写真のように、本体の工事につきましては、ほぼ完了しております。現在、足場の解体や工事に伴い拡張した道路の復元などを行っております。また、曳橋のたもとに案内板を設置することとしており、その作成などを行っているところでございます。

開通式についてですが、平成28年3月26日、土曜日、9時半から1時間程度の開催を予定しております。

内容といたしましては、八王子城跡のガイダンス施設におきまして、曳橋の概要などを説明後、曳橋でテープカット、渡り初めを行う予定でございます。

教育委員の皆様におかれましては、お忙しいこととは思いますが、ぜひ御出席い

ただきますよう、お願いいたします。

詳細につきましては、2月下旬に通知させていただく予定でございます。

報告は以上です。

坂倉教育長　　ただいま、国史跡八王子城跡曳橋架替工事についての報告が終わりました。本件について御質疑ございませんでしょうか。

開通式の詳細の通知は2月で良いと思います。この教育定例会で、旧曳橋を解体しなければいけないというのがわかったのはかなり前になります。その後、委員さんや事務局も変わっているので、劣化のこと以外で、どのような橋だったのか、今度はどういうふうに変えていくのか、曳橋のない架替が必要だった理由をもう少し話してもらえたらと思います。

中正文化財課長　　この曳橋は、もともと開市400年に当たり、八王子城跡を整備した際にあわせて整備しているものでございます。途中、一度、橋の床の張りかえなどや高欄の取りかえなどの工事を実施しておりますが、腐食が進んでおりまして、その点検、検査をした結果、橋脚の内部の腐食、橋の足の部分です。こちらの腐食が確認されまして、そのままの使用が困難ということでの点検の報告が出たものでございます。

それに伴い、このままの改修では不可能と判断したことから、架替を行うこととしまして、それまでの曳橋につきましては木でできておりましたが、やはりあそこは雪深く湿気が多いということもありまして、今回は再生木材という、木のチップをプラスチックの中にまぜた、そういう強化部材を使用しまして、全面的につくっております。見た目は、ほぼ木材と変わらないようなつくりですが、耐久性が非常にすぐれておりますので、こちらに架けかえることとしたものです。

橋の形状につきましては、これまでの曳橋が非常に市民並びに市外の方にも親しまれていることから、ほぼ同じ形状での架替を実施しております。

ただ、この曳橋は、この氏照の当時に架かっていたものとは形状としては違うのではないかというような文化庁からの指摘もございまして、その当時の状況について説明をする案内板を今回、橋のたもとに設置することとしたものでございます。

坂倉教育長　　色々な木、特に多摩産材は使用方法がたくさんあります。過去にも無垢材を使用しようという話はありませんでしたが、ヒビが入ってしまうという理由から、一

且コンクリートで囲むなど色々考えた中で今回の方法で修繕したということです。

それから、当時と形が違う、場所ももう少し上の方だったのではないかというような声がありました。文化財指定はされていませんが、やはり城跡全体を生かすためには、ここにあった橋というものを生かすことが大事だということでやることにしました。なおかつ、この橋がないと誰も来ることが出来ず本当に周遊性がすごく悪いのです。皆さんが行って戻って来ることが出来るように急いで行ったという形になっています。ぜひ、これの橋を渡って虎口に行くと、城跡っていわゆるお城はないのですが、非常に雰囲気がいいと感じられますので、ぜひ、また回復させてほしいと思います。

よろしいでしょうか。

村松委員 26年度のほうで実施を決定と書いてありますので、もちろん、私はちょっと存じ上げないのですが。これ、以前、私もここに行って確か見たのですが、橋げたですね。橋げたって、これ木目調で鉄筋なのですかね。ちょっとよくわからなかったのですが、曳橋ってやはり八王子城独自のもので、国史跡ならもう一度その耐久性を検索して、本当に全て木製として文化財指定を目指したり、何かいろいろそういうことも目指せばいいのかというふうには、素人考えでは思うのですけれども。これ大体、橋げたとか、前回平成2年に曳橋が竣工されて、大体24年で何かだめになってしまっていますよね。ですから、あそこの橋げたとかはやはりしっかりしておかないと危ないので。あれは鉄筋の木目調なのですか、ちょっと教えてください。

あと、この架替工事自体の試算というか、そういうのもちょっと載せていただければというふうに思ったのですが。

中正文化財課長 もとの橋は、一部鉄骨が入っていたと承知していますけれども、木材でできております。新しい橋につきましては、もう全面的に鉄筋鉄骨に対して再生木材の化粧材を張っております。

もう1点お尋ねあったのが、費用の件ですね。もとの曳橋につきましては、工事費がおよそ1億5,000万円かかっておりました。今回、架替する曳橋につきましては、契約金額が約1億7,400万の橋となっております。

坂倉教育長 よろしいでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

坂倉教育長　これで、予定されていた報告案件は終わりなのですが、傍聴の方もいらっしゃると思いますので、もし、今、御説明ができれば、少し、いつもの年よりおくれていますけれども、インフルエンザが少しはやってきたようなので、御報告いただけるとありがたいと思うのですが。

野田保健給食課長　それでは、インフルエンザ様疾患による市立小中学校の臨時休業発生状況につきまして、御報告させていただきます。

以前、定例会におきまして、11月2日に市内小学校で初発のインフルエンザ様疾患による臨時休校が発生したことは御報告させていただいておりますけれども、1月26日現在、市内小中学校で臨時休校が発生しておりますので、御報告いたします。

例年ですと12月の中旬ぐらいからインフルエンザの流行が始まりますけれども、ことしは気候が温暖ということで、インフルエンザの流行がおくれていましたけれども、1月に入りまして東京都のほうで発生状況が多く見受けられるということで、本市でも1月18日、大体3週目近くから、学校から報告は挙がっているところです。26日現在で1月から13校28学級の学級閉鎖が出ております。

内訳としましては、小学校が13校で、1年生で12学級、2年生で6学級、3年生で3学級、4年生で4学級、5年生で3学級、6年生で1学級。また、中学校1校で1学級の学級閉鎖が出ております。地区別で見てもバラけておりまして、特にこの地区がということではなく、全体ではやっている状況になっております。

18日以降は、雪が降った後になりますけれども、やはり気温の低い状況、また乾燥の状況が続いている中では、インフルエンザの発生率が高くなるということで、今週また来週にかけて増えてくる見込みとなっております。

報告は以上になります。

坂倉教育長　今、この1月、年が明けてからとあったのだけれど、簡単な表をこちらではもらって、今は口頭だったのだけれど、見ると、今週になってぐっと増えているので、それはやはり寒さの関係があると思うのですけれど、そういう面でいうと、予防としては、もう週明けぐらいから少し大分暖かいというか急に暑くなるような感じもあるのですけれども、これも含めてどんなような感じで見えていますか。

野田保健給食課長 兄弟関係も含めると、やはり同じ学校の中で低学年がなって、次、高学年ということで移っていることもありますので、なかなか終息が例年だと難しいかと思っておりますけれども、気温ですとか、また湿度の関係でかなり変わってきますので、感染が拡大しないように、学校のほうでは早い手だてをとっていただくようお願いをしているところでございます。

坂倉教育長 週明けで増えた中で、もう一回、うがい、手洗い等の徹底みたいな通知を出すような予定はありますか。

野田保健給食課長 1月に入りまして、東京都のほうでインフルエンザ疾患が多いということで警報が出た段階で、保健所からの通知も含めまして通知を出しているところです。今週の状況を見まして週末にかけて通知のほうは考えていきたいと思っております。

坂倉教育長 よろしいでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

坂倉教育長 ほかに何か報告事項等ございませんでしょうか。

廣瀬学校教育部長 ございません。

坂倉教育長 これで公開の案件は終わりますけれども、委員の方から何かございますでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

坂倉教育長 ないようであります。

それでは、ここから非公開となりますので、傍聴の方は御退出願いたいと思います。

再開は、11時5分としたいと思います。

〔午前9時55分休憩〕

上議事録は事実に相違するところがないことを認め、下に署名する。

八王子市教育委員会教育長

八王子市教育委員会委員